

令和3年度予算総括質疑の概要

令和3年第1回二宮町議会定例会

日時：令和3年3月3日（水） 午前9時30分より

No.	質問議員	質問の概要
1	羽根 かほる 議員	<p>令和3年度はコロナ禍が続くと予想され、税収の減少となる中、町民の生活をいかに支え、新たな取り組みを戦略的に行っていくのか。また、町は新庁舎整備、小中一貫教育についてはその方針を大きく転換した。その根拠や町長が考えるまちづくりについて令和3年度の施政方針に沿って以下の観点から問う。</p> <p>「生活の質の向上と定住人口の確保」</p> <p>1) 小中一貫教育の導入について 当初より、小中一貫教育は施設一体型を目指しており、そのメリットについて様々な視点から町民に伝えてきた。令和2年度中に施設分離型を進めていく方針に一転した。その根拠と町民に理解を得る方法、改めてわが町で小中一貫教育を進める目的を問う。</p> <p>2) 一色小学校地区再生協議会について 令和3年度が事業の最終年度。これまでの町の支出額とその成果を問う。</p> <p>「環境と風景が息づくまちづくり」</p> <p>1) 東大果樹園跡地について 令和3年度の整備工事の目的と今後の事業展開について問う。</p> <p>2) 吾妻山公園について 令和3年度の「園路の改修整備着手」の目的を問う。</p> <p>「交通環境と防災対策の向上」</p> <p>1) 「(仮称) 駅及びラディアン周辺施設まちづくり計画」について 新庁舎整備の計画変更の根拠と今後の進め方について問う。</p> <p>2) 歩道の整備について 町内の歩道の整備状況と今後の方針について問う。</p> <p>「戦略的行政運営」</p> <p>1) 職員の育成の具体策について問う。</p>
2	渡辺 訓任 議員	<p>令和3年度予算案及び施政方針について、以下のように所見を問う。</p> <p>1. 新年度予算案は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けるものであり、感染症対策支援や事業者への継続的支援が盛り込まれている。施政方針には「新しい生活様式」が強調されている。予算編制の前提として重要と考えられる感染症に対する認識はいかがか。また、町独自の感染症対策についての考えはどのようなものか。</p> <p>2. 駅周辺からラディアンへのまちづくり計画をたてるとしている。このことで、新庁舎整備の時期や財政面での見通しはどのように変わっていくのか。また、危機管理という面で、どのように対処していくのか。また、全体の公共施設再配置や町有地活用に対する影響をどのように考えるか。</p> <p>3. 産業振興について、小規模事業の起業が大きく取り上げられているが、どのような産業と影響を想定しているのか。町の経済活性化のための、地域循環経済についてどのように認識されているか。</p> <p>4. 小中一貫教育校が施設分離型ですすめられるという方針が示され、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」という形で地域での学校の役</p>

		<p>割について認識が進んだものと受け止めている。一方では、小学校の単級化については対応すべき課題とされ、学区再編や特認校の設置という方策も検討されるとされており、相矛盾するとも見受けられる。今後、軸足をどちらにおいてすすめていくのか。</p> <p>5. 地域福祉の充実と医療・介護・保険事業の連携強化がうたわれている。「住み慣れた地域で安心して暮らしていく」「身近な地域社会で自分らしく生き生きと暮らし続ける」ことを目指すとしているが、具体的にどのような姿を目指しているのか。そのための施策は何か。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
3	前田 憲一郎 議員	<p>令和3年度の予算編成は、新型コロナウイルス感染症を予防するためのワクチン接種が始まるとはいえ、感染者数の増減が繰り返され、終息の兆しが見えず、先行きが不透明なコロナ対策が最も重要視される中、令和4年度までの第5次二宮町総合計画後期基本計画及びその進捗状況を考慮しつつ策定される第2次総合戦略、令和2年度より令和6年度までの第2期子ども・子育て支援事業計画、役場新庁舎建設問題を生涯学習センター周辺から二宮駅北口まで候補地を広げ、他の公共施設を含めて機能の分散・集約の検討、3年度に再び町民意見を聞き、新たな計画を策定する予定など様々な計画を予定通り実施し、推進するために組まれた予算編成であると認識するが、当初予算編成状況を見ると、一般会計予算の歳入額を前年と比較すると、来年度は2.9%の増となり、歳入の柱となる町税全体の対前年比が減少しており、生産年齢人口減少が若干進んでいる中、学校施設、生涯学習センターの老朽化等の調査をもとに進める長寿命化計画の予算。地域集会施設の耐震工事等修繕に係る予算、その他公共施設を維持管理するための予算各地区より出された要望に対応するための予算。町有未利用地を今後どのようにしていくのか等課題が山積している状況下で、熟慮に熟慮を重ね精査された予算編成として評価できるところもあるが、町長の施政方針に則り、行政運営を進めていくという観点から見ると、この予算編成ではいかがなものか。潤沢にない予算を町民の利益、生活の向上を優先した予算なのか疑問や不安に感ずる点がある。そこで次の要旨についてご答弁いただきたい。</p> <p>①町長は5項目にわたり、二宮町総合計画後期基本計画に沿って予算の重点施策・事業について述べられているが、将来的にこのような町にしていく。という方向性が見えない。昨年のご答弁では、町有地の有効活用について検討していく、ということであったが、暫定的に駐車場とした町民会館跡地、現役場庁舎、保健センター、生涯学習センターラディアン、ホテル跡地を一体化して活用を検討する。と1月の議会全員協議会であったが、正泉寺跡地は含まれていなかった。5億2千万円で購入し、1千万余りをかけ湧水を防ぐ工事もしたわけで長期間にわたり未利用地としていることに納得できない。国立小児病院跡地等未利用地の有効活用について売却等も含めどのようにしていくのか。</p> <p>②一般会計予算についてです。令和3年度予算を見ると、例年と比較し構成比が増減しているところもあるが、二宮町の来年度の予算編成の重点項目はここであると重点的に予算付けをした項目についてお聞かせいただきたい。</p> <p>③公共施設の運営経費を見ると例年同様に負担額が多額すぎる。これだけ多額の負担をしてすべての施設を維持していく必要があるのか。休廃止する施設があってもよいのではないのか。袖が浦プールを近隣の住民、幼稚園、養護施設から存続の声がでたが、負担割合が80%台、安価な負担額であったにもかかわらず、費用対効果等を理由に休業とした。それより負担割合、負担額が高い、利用者減になっている施設を存続させるのでは整合性がない。各施設を存続させる理由をうかがいたい。</p> <p>④健康寿命の延伸についてです。コロナ禍の中、的確な事業を展開することは困難なことだと思うが、健康寿命を延伸していくための予算が少なく、例年通りの事業内容であり、医療費を削減し、生活の質の向上を図り、健康寿命を延伸するために形式ばかりの偏った事業ではなく、踏み込んだ的確な事業を企画しないのか。例年通りで健康寿命の延伸が図れているということなのか。</p> <p>⑤定住人口の確保となると、生産年齢人口要するに、子育て世代の移住を推進することになり、子育て世代の移住を推進するとなると、子ども・子育て支援になると思う。現在も子ども・子育て支援事業は行われているが、子育て世代の関心は、子どもが保育園、幼稚園、学校に入る時のことを考えている。施設の</p>

		<p>充実や教育方針等、子ども達が日々生活する学習環境状況等、多岐にわたる条件が移住の条件の一つになると思う。現在、公立、民間問わず町の教育施設等の環境はそうになっているとお思いか。来年度、二宮小学校の体育館、一色小学校のひび割れ修繕をするということだが、これだけで十分と思われるのか。学校施設修繕予算を増額し、3校の雨漏り修繕、その他危険と思われる箇所の修繕もすべきと思うがいかがか。</p> <p>⑥福祉関係の施策についてうかがう。町では様々な福祉施策を講じているが、二宮町は高齢者に温かい町と聞いて移住してきたが、温かくない。高齢者のことも考えた優しい施策を講じていただきたい。との声を聴く。鎌倉市では「坂道で買い物や通院も大変」「最寄りのバス停まで20分かかる」。交通不便地域に暮らす住民らの生活の足を確保しようと小型電動車などを活用した実証実験に取り組んだ。高齢者をはじめ利用者から継続を望む声が寄せられている。コミュニティバスもなく最寄りのバス停まで距離があり時間がかかる。買い物や通院するにも坂道往復があり不便な地域がある。また、秦野市では、福祉介護分野の相談ニーズの増加に対応するため、人工知能AIを活用した相談支援サービスを試験導入し、多岐にわたる相談内容の記録や蓄積などに役立て、相談員の負担軽減などに検証を進めるということだが、福祉施策の一つとしてこのようなことをお考えにならないか。</p> <p>⑦数多く出されている地区要望に対し、令和3年度はすべての要望に対し対応できないかと思うが、来年度はどのような要望に対し対処していくのか。</p> <p>⑧コロナ対策について予算付けがされていますが、今後どのような対策を講じるのか。本年同様に事業者に対する助成が中心となるのか。</p> <p>以上ご答弁いただきたい。</p>
4	野地 洋正 議員	<p>令和2年度の新型コロナウイルス対策は、早期かつスピードが求められていた中、多少予算の読み違いがあったものの評価する。しかし令和3年度予算では、ワクチン接種事業や、大きく方針転換され新たな計画を策定するとされた公共施設再配置事業など、スピードより内容重視、かつ町民の関心も高い施策が予定されている。情報の発信、丁寧な説明、町民ニーズの把握・・・今まで以上にじっくり、真摯に向き合い取り組むことがより大切であると考えが見解はいかがか。近年「心のない思い付き町政」ではないかと感じることもしばしばあり、村田町長の苦手とするところではないかと心配する。令和3年度を町民とともにどのように進めていくのか、以下施策、事業を中心に確認しつつ、村田町長の考え、取り組み、姿勢を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、予算編成にあたり、職員への方針、指示はどのようなものであったか 昨年の計上ミス反省に基づく対策、効果はいかに 2、コロナ対応、対策への考え、取り組み方 ワクチン接種、事業者や町民への支援、行事開催の基準等に対し 3、役場新庁舎、学校を含む公共施設再配置・町有地有効活用の推進について 「駅及びラディアン周辺施設まちづくり計画」とは、残任2年でどこまで進める 4、第6次総合計画策定への町民参画、10年後の町の姿をどう想像する 老若男女幅広い町民意見、議員・議会意見をどう取り入れ将来を築くか 5、政策を進めるにあたり、反省・課題・対策等、考えおよび姿勢を聴く 「心のない思い付き町政」ではないかと感じる不安に対し

備考：2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。
 本人の通告書の原稿を転記したものです。